

新企画

005~120

山下工芸の取り組み
間伐材・放置竹林プロジェクト
炭微粉炭シリーズ
間伐材シリーズ
TSC加工商品
蜜蝋ワックス商品
店舗設計事業
グランピング・コーヒーシリーズ
～九州の民藝～
小石原焼、小鹿田焼、小代焼、
龍門司焼、やちむん、別府竹細工
薩摩切子琉球ガラス、九州のガラス
七島蘭、藍胎漆器、宮崎の工芸品

竹製品

122~182

竹箆
盛皿 / 箕皿
青竹竹器 / 白竹竹器
演出の器
竹の小鉢・珍味
盛器・スタンド
盛込み / オードブル
道具 / 青竹箆
蒟醬 (きんま)

弁当 / 飯器

184~207

ピクニック
弁当箆
松花堂
松花堂パーツ
弁当箱
飯器

酒器

208~222

塗竹コップ
竹製コップ
生竹酒器
竹製酒器
アイスペール
酒器関連
マドラー / アイストング
木製片口
水差し・枡・冷酒ボックス

茶器

404~408

茶道具
茶道具 / 野点
茶さじ / 炭斗
茶筒
菓子器
茶こし

お盆・トレー

410~426

竹製盆
竹製膳 / マット
会席スタレ
ラタントレー
木製膳 / マット
木製盆
木製トレー
ラタントレー / 菓子盆 / その他盆

卓上用品

428~442

銘々皿
コースター / 茶托
博多織 / 佐賀錦コースター
漆塗り茶托
おしぼり入れ
ふきん入れ
ナフキン立て
調味料入れ
箸立て
楊枝入れ
カトラリーケース
メニュー立て

箸

444~494

エコマーク・繰り返し
食器洗浄機対応箸
竹箸
菜箸・取箸
おもてなしの竹箸
漆塗レーザ彫刻箸
竹箸トング
木製箸 / 縞黒檀・蜜蝋・その他
ステンレス箸
機能的な箸・その他
学べる箸 / 子ども用箸
箸セット / 祝い箸
箸置 / 箸箱

寿司 / 麺 / 鍋

223~250

盛台
寿司の道具
寿司桶・パーティセット
麺器
盛器
つゆ入れ / 薬味入れ
竹ス
鍋 (紙すき、タジン鍋、火鍋)
かまど飯釜、釜
ザル / 盛り箆
湯豆腐
鍋用備品
鍋敷き

木製品

252~288

木製椀
木製カップ
桧・杉製品
サラダボウル (木製・竹製)
木製盛器
樽盛器
アカシアの器
ブラジルの器
ビーチプレートシリーズ
木製トレイ / ボード
カッティングボード / 木製プレート
銘木シリーズ

陶磁器 / ガラス

290~300

有田焼 × ガラス HAJIMARI
セラミックハーモニーガラス
色が変わる桜のガラス
陶器珍味入れ
陶磁器

金属

302~306

急須 / 酒器
錫器
鉄器

カトラリー

496~518

竹製カトラリー
木製カトラリー
バターナイフ
菓子用カトラリー
子ども用カトラリー

各種パーツ

520

土瓶つる
ワンタッチ用柄
竹ス
塗板

ベーカリー

522~550

ベーカリーバスケット
ワイヤーバスケット
バスケットカゴ
スタンドバスケット
ディスプレイボックス
ラタントレー
ベーカリートレイ
トレイ / コットンナブキン
機能ラタントレイ
生地ねかしカゴ
ノンスリップトレイ
木製什器
樹脂ベーカリートレイ
樹脂ベーカリーバスケット

什器 / 備品

552~580

樹脂ボウル・ザル
ディスプレイバスケット
展示什器
クロークバスケット
ダストボックス
風呂道具
スツール / バスマット
客室備品
ティッシュカバー
座布団 / オットマン
くつペラ / たこ壺
照明オブジェ / LED 照明
店装備品

ライフスタイル

582~652

花器
竹集成材ファニチャー・製品
国産掃除道具
夏の風物詩 風鈴
夏の風物詩 うちわ / うちわ立て
下駄 / サンダル / スリッパ
山葡萄バッグ
竹バッグ / 天然素材帽子
文具 / インテリア小物
民芸品 / 耳かき / 孫の手 / 玩具
健康アイテム / つげ / 篠笛
布製品
バンブーウォールデコ

紙製品

308~316

和紙懐石マット
ラミネート紙皿 / 竹ペーパー
抗菌クリアシート
懐石マット
紙エプロン
耐油紙
天紙
オーロラケース
樹脂コースター
箸まわり

演出

318~338

演出小物
岩荻スタレ・小笹皿
敷葉
料理飾り
ミニ屏風
祝い串 / 懐紙
正月用品 / 重箱
正月用品
正月飾り

調理道具

340~376

セイロ蒸し器 / 和・椀角・中華
石焼プレート / 卓上コンロ
おひつ / 飯台 / 漬物樽
まな板
麺の道具 / 餅箱
ザル
手作りの道具 / 押寿司・ところ天
おろし器
すりこ木 / すり鉢 / 削り節
巻ス
トング・サラダサーバー
ターナー / 調理ペラ / しゃもじ
ヘラ / ひしゃく / お玉

串 / 包装用品

378~402

鉄砲串 / 松葉串・のし串
魚串 / 田楽串
国産串 / 丸串
角串 / 平串
楊枝・黒文字楊枝
飾り串 / 簡易フォーク・ナイフ
竹輪棒
未利用材のパッケージ
ウッドバスケット
パッケージ向竹箆
竹筒 / 木箱
竹皮容器

artwork

654~664

作家作品
竹工芸品

スポーツ

666~670

フィッシング
ベースボール

上質日用品

671~684

上質日用品
・エシカルギフト

素材

684~686

各種天然素材

ロケーション

687~694

別府と竹工芸
竹を知る
・別府市竹細工伝統産業会館
竹を学ぶ
・大分県立竹工芸訓練センター
竹を使う
・ICHIZA
九州の食

巻末事項

ご注文に際してのお願い
知的所有権・著作権
全商品 PL 法保険付
カタログ申し込み用紙
FAX 注文用紙
OEM 事業
海外事業
会社案内 / 会社概要

持続可能な開発 2030アジェンダ SDGsへの取り組み

SDGs

Sustainable Development Goals

SDGsとは、2015年に国連サミットで採択された、持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）の略称です。序文・政治宣言・持続可能な開発目標・実施手段・フォローアップ・レビューで構成されています。



持続可能な開発目標 (SDGs) 17 のゴール

- | | |
|------------------------|---|
| 1. 貧困の撲滅 | 10. 国内と国家間の不平等の是正 |
| 2. 飢餓撲滅、食料安全保障 | 11. 持続可能な都市 |
| 3. 健康・福祉 | 12. 持続可能な消費と生産 |
| 4. 万人への質の高い教育、生涯学習 | 13. 気候変動への対処 |
| 5. ジェンダー平等 | 14. 海洋と海洋資源の保全・持続可能な利用 |
| 6. 水・衛生の利用可能 | 15. 陸域生態系の保護・回復、森林の経営、砂漠化への対処
土地の劣化阻止・回復、生物多様性の損失の阻止 |
| 7. エネルギーへのアクセス | 16. 平和で包摂的な社会への促進 |
| 8. 包摂的で持続可能な経済成長、雇用 | 17. 実施手段の強化と持続可能な開発のためのグローバル・
パートナーシップの活性化 |
| 9. 強靱なインフラ、産業化・イノベーション | |

山下工芸が取り組む社会課題とSDGs



■ 対応する主なSDGsカテゴリー

環境保全・福祉・循環型ビジネスの構築への取り組み

「間伐材・放置竹林グリーンプロジェクト」として、自然で自然を支えるしくみづくりを推進し、環境に配慮した商品の提供を行います。また、国内外の開発プロセスにおける材料輸送・加工の工程の開示を積極的に進め、安心かつ安全な商品の流通に努めています。

自然由来商品開発への取り組み

プラスチック容器などのゴミ問題が、ニュースやネットでも話題に上がる昨今において、フランスでは2016年、プラスチック製使い捨て容器や食器を禁止する法律（製造企業は2020年までに、使い捨て容器や食器を、微生物によって分解され家庭用生ごみ処理機で堆肥にできるもの、もしくは原材料の一部が生物由来の資源を使っているものに変えなければいけない。）が定められました。インドでも、2017年に国家グリーン裁判所が、プラスチック製容器やビニール袋を禁止する判決を下しました。また国連でも、使い捨てプラスチックを含む海洋ごみの国際キャンペーンに乗り出し、国家レベルでの取り組みを進めると公言しています。

日本においても、ペットボトルの廃棄問題が深刻になっており、年間1,000億本ある廃棄量のうち30%しかリサイクルされておらず、廃プラスチックの主な輸出先だった中国が2017年末に輸入禁止を決定しました。

山下工芸では、プラスチック製品のゴミを削減する取り組みや自然素材を活かした商品開発を始めています。また、バイオマスプラスチック（植物などの再生可能な有機資源を使用する）、生分解性プラスチック＝グリーンプラ（微生物の働きによって分解）に注目して、商品開発から安心安全な商品の使用、使い切った後の廃棄まで考えた商品開発に尽力しております。



プラスチック製のストローではなく 竹の素材を活かした商品（竹そのもの）となります

26-006-01 (427011)
竹マドラーストロー(250本)
¥23,750
本体寸法: Φ0.8x D19.5cm
竹/(1本単価:95円)

26-006-02 (72508)
竹マドラーストローケース
¥1,350
本体寸法: W23.5xD6.3xH2.5cm
竹



プラスチック梱包資材削減への取り組み

ネットショッピングや通販などの商品をはじめ、商品の流通には必要以上の包装資材や梱包資材が使われていますが、それらの多くは商品を受け取った途端にプラスチックごみとなってしまいます。

山下工芸では、プラスチック梱包資材（プラスチック資材、PPバンドなど）を削減して、必要な梱包をきちんとすることで、商品を安心してお届け出来る取り組みを始めています。

輸入植物検疫・トレーサビリティへの取り組み

今後、外国から日本へ輸入される植物由来の商品は、植物防疫所で厳格に検査されます。輸出国の政府機関による検査の結果や検疫有害動植物が付着していないことの確認、輸出国政府が発行する検査証明書（植物検疫証明書又はphytosanitary certificate）やその写しが添付されているかどうか、輸入禁止品であるかどうか検疫有害動植物があるかどうかについて、厳しくチェックされるようになります。

山下工芸では、植物検疫証明書の検査をスムーズに行えるように、海外提携工場並びに海外提携工場と密な連携をして、政府の発行する検査証明書を取得し、安心安全な商品のご提供を進めてまいります。

このページの商品はすべて輸入品です。

Takebito® Social Business

ソーシャルビジネス(SB)とは現在問題視されている様々な社会的課題に向き合い、ビジネスを通して解決していこうとする活動の総称です。

社会的問題意識が強まる一方で、現在も様々な問題の解決は慈善や行政の支援に頼られているケースが多くあります。しかし問題に対する取り組みは政府の支援だけでは追いつかず、また個人レベルの慈善意識となると資金の問題やモチベーションの低下から継続することが困難です。そこで慈善や行政のみに頼らず、収入を得ながら持続可能な仕組みを作り社会問題の拡大抑制や解決に取り組もうとする動き「ソーシャルビジネス(SB)」が生まれ、各地で広まり始めました。



株式会社 山下工芸の取り組み

様々な竹製品の企画・制作及びその拡販活動

木やプラスチックの代わりに、伐採してもすぐに生長する竹を使用することは「森林の保護」や「人工物の処理時における環境汚染の抑制」に繋がります。

社会福祉施設への作業委託

主に梱包や検品作業を地域の社会福祉施設へ委託し、障がい者の働く機会を支援しています。

NPO法人との協力による販売促進・支援

環境系NPO法人と情報交換を行い、里山における放置竹林の状況など環境問題を認知し、企画開発に活かしています。

天然素材の製品の耐久性向上を目的とした研究(TSC加工など)(非ウレタンコーティング)

天然素材のデメリットをカバーし、耐久性を向上させ、より商品を長持ちさせるための加工方法を研究開発しています。

間伐材の破棄や放置竹林問題解消の為の製品企画開発

放置竹林の竹や間伐材、端材を有効利用するための製品の企画開発をおこなっています。



共有価値の創造へ

お客様とともにこれからも放置竹林や間伐材など社会の課題と向き合い、製品を提案していきます。

今、社会はCSRからCSVという考え方に变化していこうとしています。

CSR(Corporate Social Responsibility)とは、企業の社会的責任として、社会貢献となるものをお客様に提供することであり、CSV(Creating Shared Value)は、企業が提案・提供する商品に、お客様が理解を示し市場価値を生み出し、価値を共有するシステムの事です。

放置竹林や間伐材などの問題は、現在進行形で社会が抱える環境問題の一つです。その問題にいかに関わり、お客様に理解してもらおうか。間伐材・放置竹林グリーンプロジェクトにより、その「価値」を共有・共感して頂くことで、少しでも多くの課題が克服できるのではないかと考えています。



POWER OF BAMBOO & WOOD

Bamboo and wood to stock carbon

竹という素材を通して私たちに出来ること。

『竹』との関わり

私たちアジア人と竹の関わりは古く、堅牢な竹材は、床などの住宅用資材としてアジア全土で見受けられ、かごやザル、花器などの日用品から玩具までと、現代でも幅広く利用されています。

しなやかで強く、様々な用途に活用できる竹は、まさに自然からの恵みであり、アジアの文化の伝承や、人々の暮らしに欠かせない植物です。

『竹』は使わなければならない

竹は成長しきってしまうと、他の植物とは異なり、ほとんどCO²を吸収しなくなります。成長しきった竹はどんどん使い、生活雑貨や竹材として有効利用する事で循環をもたらす事が私たちの取組のひとつです。

かつて私たちは筍の段階での食料としての消費や、建築用の資材、生活道具を作る為の糧として竹林と共存していました。

通常プロダクト可能な竹の生育年数は3年から5年と言われています。それ以上経年すると硬くなり、加工には適しません。

放置竹林と廃棄する竹を、何か有効に利用する手立てはないか。そこで私たちが着目したのが竹超微粉炭(竹炭パウダー)の開発でした。

そのサイクルを乱さず、自然にあるものを余すことなく利用するサステナブルな手法です。

※竹のCO²ストックに関しては研究段階につき諸説存在します。



※竹炭パウダー、竹炭塗商品のページは14~32に掲載。

自然で自然を支えるしくみ

間伐材・放置竹林 グリーンプロジェクト

KANBATSUZAI & HOUCHI-TIKURIN GREEN PROJECT

間伐材・放置竹林グリーンプロジェクトとは、弊社が行っているソーシャルビジネスの一つで、現在問題となっている放置竹林や、建材としての価値を持たない間伐材を有効活用し、森林資源の浪費や放置竹林の拡大を防ごうとする環境保全プロジェクトです。

活動の一環として放置竹林、間伐材などの未利用材を活用した商品企画・製造・販売・OEM生産(ノベルティ等)を行っています。

1piece=¥1 for nature & for friends

プロジェクト企画商品を1点ご購入頂く毎に1円を環境保護団体・ボランティア団体などへお客様とお打合せの上で寄付しております。

未利用資源は使えば使うほど環境に優しい

環境問題が深刻視されるようになった今日では、進化した技術により環境に無害な人工素材が次々と登場しています。そんな中、竹や間伐材は、自然が生み出した、地球と人とを繋ぐ天然のエコ素材です。竹は繁殖力や生命力に優れ、森林の樹木を伐採するよりも効率よく天然資源の調達ができます。そして間伐材は、森林資源を無駄なく使うことのできる大事な資源です。

弊社SBの取り組みが経済産業政策局ソーシャルビジネス・ケースブック(平成23年3月発刊)に掲載されました。

<http://www.yamashita-kogei.com/pdf/casekyushu105.pdf>



自然で自然を支える箸プロジェクト エコマークアワード2015「銅賞」

「エコマークアワード」とは、日本環境協会によって2010年に創設された表彰制度で、エコマーク事業の目的である「消費者の環境を意識した商品選択、企業の環境改善努力による、持続可能な社会の形成」に大きく寄与する取り組みをした企業・団体等を表彰するものです。



弊社が約10年前から取り組んでいる「間伐材・放置竹林グリーンプロジェクト」及びその一環として行っているCSV活動が、環境配慮商品を選択することで消費者が社会的に貢献できるコーズマーケティングの好事例として評価され栄えある「銅賞」を受賞しました。

弊社は今後も放置竹林や里山の荒廃等といった社会問題と向き合い、「放置竹林・間伐材=エコな有用資源」であるという考え方のもと環境保全活動を持続可能なビジネスとして展開していき、地球環境の保全に努めてまいります。

※注1 Creating Shared Value=共通価値の創造の略称

※注1 特定の商品を購入することが環境保護などの社会貢献に結びつくと訴える販促キャンペーン

エコマーク認定商品

この度、弊社が推進するソーシャルビジネス「間伐材・放置竹林グリーンプロジェクト」の製品である竹箸5種類が、エコマーク認定されました。エコマークは、消費者が暮らしと環境の関係について考えるきっかけや、環境に配慮された商品を選ぶための目安となります。弊社では、エコマーク製品の提供を通じて、微力ながら自然環境保護に取り組んでまいりたいと思っております。



使いやすい携帯可能な長さのお箸です。



26-012-01 (272143)
スス竹角弁当箸
¥570
本体寸法: 19.5cm
竹/ウレタン塗装

竹の表皮を磨いているお箸です。



26-012-02 (27434)
新客箸(白)(クリヤー)
¥550
本体寸法: 22cm
竹/ウレタン塗装

26-012-03 (27433)
新客箸(スス)(クリヤー)
¥550
本体寸法: 22cm
竹/ウレタン塗装

竹の表皮を活かし、強度を高めたお箸です。



26-012-04 (276721)
白竹節無箸
¥670
本体寸法: 23cm
竹/ウレタン塗装

26-012-05 (276722)
スス竹磨節無箸
¥700
本体寸法: 23cm
竹/ウレタン塗装



再生材料を使用
再・未利用木材100%

エコマーク認定番号
第12128003号
株式会社山下工芸

エコマークとは、財団法人日本環境協会が「環境保全に役立ち、環境への負荷が少ない」と判断した商品につけられるマークです。